



基本目標 4. 利用者のための福祉サービス提供体制の整備

基本項目：4-1 地域包括ケアシステムの構築

基本項目：4-2 社会福祉事業の推進

事業名	4-1-1 福祉会議事業（地区ケア会議）
-----	----------------------

PLAN (計画)	現状と課題	<p>福祉会議事業（地区ケア会議）は、自分たちが住んでいる地区の困り事や共通の生活課題を出し合い、解決のために必要な活動や取組みについて協議する場として、30地区社協で行われている。ここ数年は、コロナ禍により地区ケア会議の開催を自粛する地区が増え、コロナ前の状況に戻していくことが当面の課題であるが、会議の意義や目的が浸透していない地区社協も見受けられる。</p> <p>地区ケア会議は、地区社協が作成した課題解決実施計画書により協議を行っているが、課題の把握と共有を繰り返すだけの会議になっていたり、他の会議や事業と連動するような体系になっていない。</p>					
	方針・目標	<p>令和5年度より、地区ケア会議の構成員に市職員も加え、住民と社協、行政で連携体制の強化を図った。地区社協には、毎年地区ケア会議の意義や目的を明確にするための説明を行い出席者で共有する。また、住民が把握している地区の特性や社会資源をアセスメントシートとして毎年作成し、地区の困り事や共通の生活課題を解決するための基礎資料とする。地区担当のCSWは、話し合った内容が次の会議につながり出席者の合意形成を得られるよう工夫し、地区、地域、市の三層で行われているケア会議が連動し、地域包括ケアシステムの中核を担い、機能するような取組みを展開する。</p>					
	取組みの達成目標		R5	R6	R7	R8	R9
		地区ケア会議及び美作市の地域包括ケアシステムについて説明	計画	30地区	30地区	30地区	31地区
結果							
共通のテーマで話し合い、各会議の流れを体感する		計画	30地区	30地区	30地区		
結果							
地区アセスメントシートの作成	計画	-	5地区	10地区	15地区	20地区	
結果							



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性（継続・見直し・終了）
	継続（一部見直し）



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容

事業名	4-2-1 美作市内の社会福祉法人等連絡協議会（美作お助け隊）
-----	---------------------------------

PLAN (計画)	現状と課題	<p>制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、市内の社会福祉法人等が連携・協働し、地域公益活動を進める「美作お助け隊」を設立し、フードワン事業（食糧支援）、わーく・わーく事業（就労訓練）、お家さわやか事業（ゴミ屋敷の清掃）、子どもの学習支援・居場所づくり事業に取り組んでいる。既存の事業の見直しや新たなニーズ把握、必要に応じたサービスの開発の検討も必要である。</p>						
	方針・目標	<p>参加社会福祉法人等は相互に連携を図り、制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、既存の事業を継続し、地域の社会資源としての役割を担い地域公益活動に取り組む。 各事業の部会を開催し、既存の事業についての協議や見直しを図るとともに、必要に応じて新たな福祉サービスの検討も行う。</p>						
	取組みの 達成目標	各事業部会の開催	計画	R5	R6	R7	R8	R9
			結果	→				
情報交換会や福祉ニーズの 勉強会の開催	計画	1回	1回	1回	1回	1回		
	結果							



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性（継続・見直し・終了）
	継続（一部見直し）



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容

P L A N (計画)	現状と課題	<p>在宅で生活する障害者が軽作業を通じて生活のリズムを作り、社会に適応する力を養いながら、社会復帰を目指す作業所の運営を行っている。</p> <p>むぎの会では、2人の指導員が送迎しているが、送迎の範囲が限られており、市内全域の対象者のニーズに対応できていない。また指導員が研修に参加できる体制が出来ていない。</p>						
	方針・目標	<p>むぎの会の利用を希望する対象者が、現行の送迎範囲外にいる可能性があるため、利用希望のニーズ調査を行う。調査結果を基に美作市と協議し、送迎ルートの見直しや運転員の配置を検討する。また、指導員の資質向上を目的に、勝英自立支援協議会等による研修に参加する。</p>						
	取組みの 達成目標	利用についてのニーズ調査	計画	R5	R6	R7	R8	R9
			結果		4地域			
		送迎ルートの見直し・検討	計画		検討			
			結果					
行政との協議	計画			協議				
	結果							
指導員の自立支援協議会等の 研修参加	計画			2回	2回	2回	2回	
	結果							



D O (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



C H E C K (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了)
	継続 (一部見直し)



A C T I O N (今後の取組み)	具体的な取組み内容

PLAN (計画)	現状と課題	本事業は、概ね65歳以上の一人暮らし高齢者等に、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに安否確認を行い、自立した在宅生活が送れるよう支援するもので、勝田・大原・東粟倉・作東・英田地域で事業を実施している。現在約130名の利用があり、各地域ステーションで業務管理をしているが、不在時や緊急時の対応等、社協内部における業務の統一ができていない。						
	方針・目標	本事業は、高齢者の食生活の改善や健康保持に加え、孤独感の解消を行う取り組みが求められており、季節のメッセージを添える等の工夫が必要である。 今後は、安否確認方法やメッセージカードなど、社協内部で統一した様式を使用し、業務の効率化と地域差が生じないような事業展開を図る。また、地域住民や民生委員等地域の支援者への事業説明を行い、地域の見守りの一環として活用を働きかける。						
	取組みの達成目標	業務内容統一に向けた協議	計画	R5	R6	R7	R8	R9
			結果	1回	1回	1回	1回	1回
		民生委員会等各会議で広報	計画	1回	1回	1回	1回	1回
結果								
地区ケア会議での広報	計画	30地区	30地区	30地区	31地区	31地区		
	結果							



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了)
	継続 (一部見直し)



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容

P L A N (計画)	現状と課題	妊婦及び産後1年以内の産婦を対象に、家事の支援や授乳、おむつ交換等の育児に関する支援を行っている。子育てに支援を必要とする世帯であり、産褥うつ症状や困窮など複合的な課題を抱える世帯が多い。						
	方針・目標	利用世帯は、複合的な課題を抱えており、ヘルパーには単に家事援助や育児の手伝いだけでなく、産褥期の妊産婦の精神状況や身体状況のサポートも求められている。 担当保健師と連携し、世帯の養育力を支える重要なサービスとなるよう提供体制を整え、質の向上維持を図る。						
	取組みの 達成目標	産褥期の生理的変化等について ヘルパー研修を実施	計画	R5 1回	R6 1回	R7 1回	R8 1回	R9 1回
			結果					
		地域ステーションCSWや地域 保健師への事業周知	計画	1回	1回	1回	1回	1回
			結果					
重層的支援体制整備事業との 連携		計画		1ケース	1ケース	1ケース	1ケース	
	結果							
事業評価のための利用者への アンケート	計画	アンケート作成	実施	→				
	結果							



D O (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



C H E C K (毎年度7月末時点)	達成状況と成果	
	課題	
	今後の方向性 (継続・見直し・終了) 継続 (一部見直し)	



A C T I O N (今後の取組み)	具体的な取組み内容

PLAN (計画)	現状と課題	<p>現在、市内北東部で訪問介護事業を行っている事業所は、本会が運営する大原指定訪問介護事業所の一か所だけである。また、訪問介護員の人手不足が全市的な問題となっており、サービスの受入れが難しい状況に陥っている。今後、独居・高齢者世帯の急増や、障害者の地域生活への移行が進む中で、事業所の職員体制の整備が喫緊の課題になっている。</p>						
	方針・目標	<p>今後の利用者増に対応できる職員体制の整備や新たな人材確保に向けた調査・研究のため、本会にプロジェクトチームを設置するとともに、市内の訪問介護事業所とも協議を重ねながら、介護人材の確保に向けた取組みを全市的に展開することを目指す。</p> <p>また、介護職員に向けた基本的な制度理解に関する研修等を行い、職員の能力とサービスの質の向上を図る。</p>						
	取組みの達成目標	プロジェクトチームの設置と人材確保に向けた調査・研究	計画	R5	R6	R7	R8	R9
			結果					
		市内訪問介護事業所との協議	計画					
			結果					
職員研修会の開催	計画	12回	12回	12回	12回	12回		
	結果							



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了) 継続 (一部見直し)



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容